

いま 大分大学で
起きていることを
ご存知ですか？

シンポジウム
**大分大学の
あり方を考える**

近年の「大学改革」は教育・研究機関にはふさわしくないトップダウンの管理方式を大学にもちこみ、学長選挙の廃止・学部長選考を学長権限とするなど、話し合いで決める方式をことごとくなくそうとしています。今、経済学部はまさにその危機に直面しているのです。
このように、教員の意見を表明する自由が奪われつつある状況は、今の日本社会に蔓延している「表現の不自由」の大学版といえるものです。学生・市民の皆さんも今回のことを、国民の共有財産としての大学のあり方・社会のあり方の問題として、ともに考えてみませんか。

11/17日 **参加無料**
どなたでもご参加下さい

午後2時半～午後5時
労働福祉会館・ソレイユ
(大分市中央町4-2-5) 3階 牡丹

▶経緯説明&問題提起
大分大学のガバナンスを考える会
▶コメンテーター
石原 優(明治学院大学教授)・根岸英世(弁護士)

主催 大分大学のガバナンスを考える会
【連絡先】 気賀沢 (080-1547-1323)

2019年11月10日 大分合同新聞

大分合同新聞 (幸月 千里) 2019年(令和元年)11月10日 日曜日

意見広告

大学のあり方を考えてみませんか 今、大分大学で起きていることをご存知でしょうか？

去る8月に経済学部長の交代に当たり、学長が選考する際の参考として学部で候補者を選出したのですが、その意見はきちんと聴かれず、逆に第三者委員会が立ち上げられました。このように、教員の意見を表明する自由が奪われつつある状況は、今の日本社会に蔓延している「表現の不自由」の大学版といえるものです。学生・市民の皆さんも、今回のことを国民の共有財産としての国立大学のあり方、今の日本社会のあり方の問題として、ともに考えてみませんか。

シンポジウム

「大分大学のガバナンスを考える」
11月17日(日) 午後2時半～5時 労働福祉会館 ソレイユ 3階 牡丹
連絡先 気賀沢 080-1547-1323

大分大学のガバナンスを考える会 代表 神戸輝夫 大分市雄城台中央1-2-9

2019年11月12日 西日本新聞 大分版

意見広告

【シンポジウム】

大学のあり方を考えてみませんか

日時 11月17日(日) 午後2時30分～5時
場所 大分県労働福祉会館ソレイユ 3階 牡丹 (大分市中央町4-2-5)

去る8月に、経済学部長の交代に当たり、学長が選考する際の参考として学部で候補者を選出したのですが、その意見はきちんと聴かれず、逆に第三者委員会が立ち上げられました。近年の「大学改革」は教育・研究機関にはふさわしくないトップダウンの管理方式を大学にもちこみ、学長選挙の廃止・学部長選考を学長権限とするなど、話し合いで決める方法をことごとく変えようとしています。

このように、教員の意見を表明する自由が奪われつつある状況は、今の日本社会に蔓延している「表現の不自由」の大学版といえるものです。

学生・市民の皆さんも今回のことを、国民の共有財産としての大学のあり方・社会のあり方の問題として、ともに考えてみませんか。

大分大学のガバナンスを考える会 (代表)神戸輝夫 Tel.090-1088-1563
シンポジウム 【連絡先】 気賀沢 Tel.080-1547-1323

2019年11月13日 朝日新聞 大分版

意見広告

シンポジウム

大分大学の あり方を 考える

いま 大分大学で起きていることをご存知ですか？

去る8月に経済学部長の交代に当たり、学長が選考する際の参考に学部で候補者を選出したのですが、その意見はきちんと聴かれず、逆に第三者委員会が立ち上げられました。
近年の「大学改革」は教育・研究機関にはふさわしくないトップダウンの管理方式を大学にもちこみ、学長選挙の廃止・学部長選考を学長権限とするなど、話し合いで決める方法をことごとくなくそうとしています。

このように、教員の意見を表明する自由が奪われつつある状況は、今の日本社会に蔓延している「表現の不自由」の大学版といえるものです。
学生・市民の皆さんも今回のことを、国民の共有財産としての大学のあり方・社会のあり方の問題として、ともに考えてみませんか。

11/17

午後2時半～午後5時
労働福祉会館・ソレイユ
(大分市中央町4-2-5) 3階 牡丹
参加無料

主催:大分大学のガバナンスを考える会
連絡先:気賀沢 080-1547-1323

2019年11月13日 毎日新聞 大分版

意見広告

いま、大分大学で起きていることをご存知ですか？去る8月に経済学部長の交代に当たり、学長が選考する際の参考に学部で候補者を選出したのですが、その意見はきちんと聴かれず、逆に第三者委員会が立ち上げられました。近年の「大学改革」は教育・研究機関にはふさわしくないトップダウンの管理方式を大学にもちこみ、学長選挙の廃止・学部長選考を学長権限とするなど、話し合いで決める方法をことごとくなくそうとしています。このように、教員の意見を表明する自由が奪われつつある状況は、今の日本社会に蔓延している「表現の不自由」の大学版といえるものです。学生・市民の皆さんも今回のことを、国民の共有財産としての大学のあり方・社会のあり方の問題として、ともに考えてみませんか。

大学のあり方を 考えてみませんか？

シンポジウム **“大分大学のガバナンスを考える”** **11/17 sun** 午後2時半～午後5時 | 労働福祉会館・ソレイユ (大分市中央町4-2-5) 3階 牡丹
(主催) 大分大学のガバナンスを考える会 (問い合わせ) 気賀沢 080-1547-1323

大分大学のガバナンスを考える会 代表 神戸 輝夫 住所:大分市雄城台中央1-2-9 連絡先:090-1088-1563